

市民参加プロセス計画書：（仮称）岡崎市DX推進計画

Q・そもそも、なぜこの計画又は事業が必要なのか？計画策定又は事業推進により解決したい課題は何か？

令和2年12月、政府において「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が決定され、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」が示されました。

このビジョンの実現のため、自治体の取り組むべき事項等を具体的に示した「自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画」が策定され、各自治体においてデジタル技術やデータを活用した住民サービスの向上や業務効率化に向けた取り組みが求められていることから、本市においても行政デジタル化の基本方針を示す「（仮称）岡崎市DX推進計画」を策定する必要があります。

計画においては、本市におけるデジタルデバインド対策や、行政手続のオンライン化の推進といった内容を盛り込む必要があると考えています。

	実施時期（年月）	具体的な市民参加手法・実施場所・実施回数など	対象者 （対象とした理由）	・提供する情報 ・聴取したい情報	目的（何についてどこまで合意形成したいか）
検討段階					
構想段階					
<p>総務省が令和2年12月に策定した「自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画」に基づいて策定するため、検討段階及び構想段階における市民参加の余地がほとんどありません。そのため、（仮称）岡崎市DX推進計画の具体的な内容について検討する計画段階から市民参加を実践することとします。</p>					
計画段階	令和3年9月	グループヒアリング	高齢者団体及び高齢者介護の関係者（高齢者の目線から、いわゆる情報弱者と呼ばれる方も等しくデジタル化の恩恵を受けられるような対策（デジタルデバインド対策）に関する御意見をお聴きしたいため）	・本市におけるデジタルデバインド対策のあり方 ・デジタル化における高齢者のお困りごと等	デジタル化における高齢者のお困りごと等を把握する。その内容を推進計画にどのように盛り込むかを検討する際の情報やアイデアを収集する。
	令和3年11月	市民広聴会「まちづくりほっとミーティング」	子育て世代（乳幼児～小中学生）の方（仕事や子育てで来庁するのが難しく、かつスマホ等を使い慣れている子育て世代の方から、行政手続のデジタル化について御意見をお聴きしたいため）	・スマホでできる行政手続の例など ・子育て関係手続での困りごと、スマホでできるといいと思うもの等	子育て関係手続における困りごとやデジタル化のニーズを把握する。その内容を推進計画にどのように盛り込むかを検討する際の情報やアイデアを収集する。
	令和3年11月	附属機関	岡崎市行財政調査会（学識経験者からの専門的な御意見をお聴きしたため）	・推進計画（案） ・推進計画（案）に対する意見	推進計画（案）について学識経験者からの専門的な御意見をお聴きし、推進計画（案）の内容の精度を向上させる。
	令和4年1月	パブリックコメント	全市民（パブリックコメントは誰からの意見も受け付けるため）	・推進計画（案） ・推進計画（案）に対する意見	推進計画（案）の内容に対する合意を得る。
実施・運用段階					